

## Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2018年9月19日公開

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ミニストリーツアーの真っ只中、カリフォルニアのアーバインより、ライブを行っています。

すでにこの週末、カルバリーチャペル タスティンで、素晴らしい時間を過ごしました。そこで、出来たばかりの新しいメッセージ「滅びない世代」をお話ししました。近々、このメッセージもユーチューブにアップ出来ればと思っています。

ユーチューブといえば、皆さんの多くが、知らない間に登録解除されています。一度、ご確認されると良いと思います。ただ、前回の私のアップデートに関しては、私が、ユーチューブとフェイスブックから削除しました。それから、フェイスブックの” Amir Tsarfati ” のページに投稿しました。フェイスブックのページですが、ミニストリーのページ Behold Israel と、もう一つ、公人としてのページで、” Amir Tsarfati ” があります。こちらのページは、私の個人的な内容で、ミニストリーについてや、その他のことを、私が投稿しています。

昨夜（18日）、今回の件で、次から次へと新しい情報が届いて眠れなくて、その時に、昨日私が報告した情報の一部が誤りであった事に気付いたのです。その間違った情報が、ユーチューブとフェイスブックに上がっている事に耐えられなくて、私が削除しました。ユーチューブが、勝手に削除した他の情報に関しては、私には理解出来ませんが、あの動画を削除したのは、私です。理由は、私が伝えた情報の一部が正しくなかったため、私の責任です。他のメッセージは、まだ Behold Israel のユーチューブチャンネルに残っていますから、私は大丈夫です。私は、ユーチューブから出入り禁止にされたものではありません。私が自分で動画を削除したのです。

という事で、私があれを削除しました。今から、その理由と、正確には何が起こったのかを説明します。

昨夜、シリア北部のラタキア上空で、イスラエル時間の夜11時近く、4機のイスラエルのF-16が、ラタキア地域のある場所で、ロケットを何発か発射しました。ラタキアは、シリアのリゾート街で、アサドの部族が多く住んでいる場所です。ラタキアの隣には、フメイム空軍基地があって、そこには、ロシアが大規模に駐留しています。ロシアは、フメイム空軍基地から、偵察特殊任務を執り行っていて、彼らの偵察機、イリュシン20(IL-20)の内1機が、15人の乗務員を乗せて地中海沿岸をパトロールしていました。そして、4機のイスラエルのF-16が到着した時、イスラエル側は、少なくとも去年からしてきた通り、我々は、これから、ある特定の場所を攻撃する事を、ロシアに告げました。何を攻撃し破壊したかは、後ほどお伝えします。

ロシアの主張では、彼らとその飛行機に、そこから離れるよう警告する十分な時間がなくて、シリアが、ロシア製のS-200対航空機防衛システムを発射した時、電子戦争に非常に優れ、こういった彼らが発射するロケットをそらす事の出来るイスラエルのF-16に命中する代わりに、ロシアの飛行機に命中したと言っています。これはロシアにとっても、また、ロシアの防衛システム購入を考えている者にとっても、ものすごい衝撃です。なぜかといえば、通常、自国の兵士や航空機を撃った武器



Figure 1 シリア・ラタキアの位置

は、作動停止にしますから。それが今回、ロシアのロケットがロシアの飛行機を撃墜し、乗務員を15人全員が死亡したのです。つまり、実際に何が起こったかという、4機のイスラエルのF-16を撃墜するつもりが、ロシアの飛行機が撃墜されて、15名が死亡しました。

次に、我々は何を破壊したのか、ですが、ロシア機が撃墜されたことで、ロシアとイスラエルとの間に、緊張が高まって、危機が起こっている為に、イスラエルは、非常に珍しい形で、初めて、4機のF-16を送り込んだのは我々であると、声明を発表しました。我々が破壊したのは、特定の工場で、そこでは、現在イランの手中から、ヒズボラに届けようとしている普通のミサイルを精巧かつ、強力なものに変える装置が作られていました。現在ヒズボラが持っているものに関しては、イスラエルは、さほど心配していません。彼らのロケットのほとんどは、それほど”スマート”、精巧ではありませんから。しかしながら、それらが一旦修正されれば、非常に恐ろしい確率で、命中するようになります。我々が破壊したのは、それを行なっていた、特定の施設です。そこでは、イラン革命防衛隊の旅団であるアル-クッズがそれを行っていて、ヒズボラに届けられる寸前でした。それが、実際に起こった事です。

次に、私が昨日報告した中で、正確でなかった情報ですが、この数日間に、NATOが戦艦を送り始めている事に、我々は気づいていました。イギリス、フランス、さらにはアメリカの戦艦も数隻ありました。それらが、シリア沿岸に近づいていて、昨日、イスラエルの空爆の最中、少なくとも15発の巡航ミサイル…あれを巡航ミサイルとは言いません。半弾道ミサイルが、海上から発射されました。つまり、イスラエルが空から攻撃している時、海上からもロケットが発射されました。次に、NATOが戦艦で近づいている事は、誰もが気づいていた為、地中海のすぐ隣にあるレバノンの全軍隊が、アメリカ、イギリス、フランス、イスラエルが合同活動を始めたとの情報を、インターネットに大量に流したのです。

実際、彼らの報告は正確でした。50発のミサイルが発射され、その内の28発が標的に命中した、と。これが、私が間違えた点です。

私が、現場の人達から情報を受け取った時、-イスラエルにいる人ではなく、レバノンとシリアに居た人達です- 私は、NATOがロケットを発射したという事は、何か、化学兵器に関する事が起こったのだろうと、結論づけたのです。それが唯一、彼らが来ている目的ですから。現在シリアで起こっている、最後の戦い、イドリブでの流血を避ける為です。

あそこは現在、片方にイラン、ロシア、シリアの兵士達が居て、反対側にトルコが居て、何十万という人達が閉じ込められています。そして私は、間違った結論を出してしまいました。

次に、その理由ですが、私は、自分の間違いを認めます。そして、あのアップデートをユーチューブやツイッター、フェイスブックから削除するのは、私にとって非常に重要な事です。どうして私は間違っていたのか？それは、アメリカが声明を発表した直後、フランスが声明を発表しました。

「彼らの戦艦は、一切関わっていない。」

と。アメリカか、NATOに関わる何らかの活動が、彼らの周囲の誰か他のものによって行われた直後に、アメリカが「自分たちはしていない」と声明を発表したのは、これが2度目で、恐らく6ヶ月前だったと思いますが、シリアで最近の化学兵器攻撃があった4月に一度ありました。

次に、前回アメリカが「自分達はしていない」と言った時は、イスラエルでした。今回アメリカとフランスが、

「我々はしていない」と言えば、全ての目が、またイスラエルに向けられます。ただ、私は、イスラエルから聞いている情報は、皆さんには、お伝えしません。

私も情報は知っていますが、しかし私は、アラブの情報源から得た情報を、皆さんにお伝えします。わざわざこんな事を言う理由は、私がデリケートな情報を、真っ先に伝えていると非難されない為です。アラブの情報源が伝えたのは、民間の船が、ロケット発射台を装備していて、これらのロケットを発射した。彼らは、ロケットの名前、ロケットの射程距離まで正確に知っていて、これが半弾道であることも知っていました。ですから、イスラエルが上空から攻撃した事と、また、海上からも攻撃があった事が確認されました。

ところが、数時間が経過して、フランス、イギリス、アメリカの、この件への関与が、薄れていきました。そして実際は間違いであった事が証明されました。事実、それを上空と海上から行える唯一の国は、イスラエルです。上空と海上から発射されたロケットは、全て、同じ標的に命中しましたから。これほどリスクを負ってまで、それを破壊する事が、イスラエルにとってどれほど重要であったかが、お分りいただけるでしょう。そして実際に両方から攻撃したのです。ですので、この点で私は間違っていました。

NATOがこれに関わっていると考え、彼らは、イスラエルとはまた別のものを狙っていると考えていました。私は、彼らがあちらにある化学兵器の倉庫を標的にしたのだと思いましたが、間違いでした。

次に、私が事実として知っていることを、お伝えします。

この大混乱の後に起こった事を、まず説明します。ロシアは、3つの異なる事に対して、激昂しています。第一に、イスラエルが十分な時間を与えなかった事。私が思うに、現場の者たちが、何か大事なものを移動させる時間がなかった為です。第二に、彼らの飛行機が撃墜された為、激昂しています。第三に彼らが激昂しているのは、ロシアの飛行機を破壊し、ロシア兵を15人殺害したのが、ロシアの武器だった為です。彼らのプライドと、彼らの名声と、全栄光が、こんな風に打撃を受けたので、直ちに、彼らは、全怒りをイスラエルに向けました。明らかに、彼らには他に何が出来ますか？彼らは、シリアを責めるわけにはいきません。シリアは、ロシアの武器を使ったのですから。そして、ロシアがイスラエルを非難している事は、いくつかあります。

1つは、イスラエルがロシアの飛行機を”えさ”に使った事です。その為、彼らが攻撃した時、電子戦争を利用した為、ロシアの飛行機が撃墜されたのです。

2つ目に、イスラエルが合意した手順に従わず、警告した後、十分な時間を与えなかった事。

そして3つ目が、非常に警戒すべき事で、ロシアのある者達が、

「イスラエルはアメリカの手先だ」

と言っています。その為、アメリカがロシアに対して行う事の全責任、または、ロシアがアメリカに敵対する事の全てを、イスラエルが受けるべきだ。今、私が言った事を、皆さんが理解しておられるか分かりませんが、ロシアが、アメリカに対して感じる鬱憤は、何であろうと、イスラエルに向けても構わない、と、彼らは結論づけたのです。この為、在ロシアのイスラエル大使がモスクワに呼び出され、お叱りを受けました。ロシアの防衛大臣が、イスラエルの大臣に電話をして、叱責しました。それから、ベニヤミン・ネタニヤフが、ウラジミール・プーチンに電話したとき、プーチンは、機嫌が悪かった。

ただ、口調は、プーチンが一番穏やかで、次のように言いました。

「イスラエルが、我々の飛行機を攻撃していない事は、分かっている。しかしながら、間違いの連鎖による悲劇は、ものごとが正しく行われなかった結果だ。」

そして、ウラジミール・プーチンが数時間前に言いました。

「我々は、状況を修復して、誰にも我々の場所も軍も、装備も、攻撃させないようにする。すぐに、我々の行動を皆が目にする事になる。」

次に、非常に興味深い事に、イスラエルが探知したのは、ロシアの国防相から、イランの国防相に、膨大な数の戦闘機と貨物機をイランに着陸させる許可を求めています。

彼らは、それらを、はるばるロシアから、まず、近隣のイラン基地まで前進させているのです。彼らは、飛行機の燃料や、飛行機を保管しておく為の駐機場の提供を、あちらに求めています。

次に、もう一つ皆さんにお伝えしたいのは、先月まで、ロシアがああ基地に送った飛行機が、これほどの短期間で、あれほどの数になる事は、ありませんでした。我々は、シリア国内のロシア基地に、彼らが、軍を建て上げているのを目にしています。2日前、飛行機を数えていたら16機ほどでしたが、それが、すでに30機近くで、さらにどんどん増えていきます。つまり、私が言いたいのは、ロシアは、将来的な軍事攻撃について何かあれば、イスラエルが介入すると熟考しています。これは、非常に興味深いです。

次に、昨日、非常に面白い事が起こりました。皆さんは、ご存知ないでしょうが、1988年の昨日、イスラエルが初の人口衛星を打ち上げています。ちょうど30年前です。そこで、イスラエルの国防相が、1988年の第一回目の打ち上げの時の動画を公開、それから、今年オフェク11から送られた写真も公開、それは、ダマスカスにある、アサドの宮殿の写真でした。イスラエル国内と世界中でも、皆が推測したのは、

「なぜ、イスラエルの国防相が、最新の人工衛星で数日前に撮影された、アサドの宮殿の写真を公開したのか？」私は、ずっと皆さんに言ってきましたが、イザヤ書17章がきっかけとなって、エゼキエル戦争に火をつけると、私は信じています。ダマスカスが、崩壊しなければなりません。

「ダマスカスが崩壊する」という表現は、誰かが、そこを破壊するという意味で、自滅するものではありません。誰が、ダマスカスを破壊するのか？何が起こるのか？一つ確かなのは、イスラエルがシリアに入るのは、もはや、簡単なことではありません。昨夜の出来事以来、我々がシリア上空を自由に飛行する事を、ロシアが許すとは、私は思いません。彼らから、理解を得るとは思いません。またロシアは、イランの地位確立を、さらにどんどん認めて行くでしょう。何らかの形で、イスラエルを支援するアメリカに対抗する為です。

それから、もう一つ、私が信じているのは、時が来れば、大きな可能性としてロシアが空爆して来ます。空から攻めて来ます。なぜかといえば、エゼキエルには、イスラエルに対する攻撃は、地を覆う雲のようだ、と書かれていますから。非常に興味深い事になると思います。我々は、もうすでに巨大な軍隊が、シリア国内と、イランで立ち上げられているのを目にしています。ロシアの戦闘機です。我々はもうすでに、ロシアの政治家達の、非常に警戒すべき会話を見えています。ある者達は、今回起こった事の責任をイスラエルが償うべきだと言っています。また別の者達は、イスラエルはアメリカの手先だから、我々のアメリカに対する敵意は、イスラエルが受けるべきだ、と言っています。

我々がしている会話は、低階級の人物ではありません。ドゥーマ（ロシアの国会）の第二副議長で、非常に上級の政治家です。それが、この状況では、ロシアの軍事攻撃が適切だ、と言っているのです。ロシアの国防相は、今の時点で、軍事対立の可能性は低いと言っています。ただ、彼らが攻撃について語っているという事実だけでも、ロシアが、イスラエル攻撃について語っていて、彼らの軍隊が、そこら中にいるという事実、これだけでも警戒すべきです。そして、聖書を信じている人なら、当然、予測が付きまます。

もし、これだけで足りないなら、また今回、プーチンが、彼の武器システムや戦闘機、彼のシリア駐留に関し

て受けた屈辱が、十分でないなら、今日、ポーランドの大統領が、ホワイトハウスに、トランプ大統領を訪問して、その記者会見の中で、カメラに向かって言いました。

「我々は、アメリカが、ポーランド国内に大きな米軍基地を建設する事を望んでいる。その基地の名は『フォート・トランプ』だ。」

事実、ポーランドはその費用を出すつもりでいます。皆さん、想像できますか？

NATO（北大西洋条約機構）は、第二次世界大戦の直後に創設されて、1954年～1955年に西ドイツが参加した直後、ロシアは、自分達の条約を結ぶ事を決意して、1955年、ポーランドのワルシャワで条約を締結しました。つまり、NATO（北大西洋条約機構）があって、それからワルシャワ条約は、東ヨーロッパとソビエト、アルバニア、東ドイツです。

考えてみてください。

鉄のカーテンが崩壊した1991年以降、ソビエト連邦は解散して、ワルシャワ条約がなくなりNATOは、どんどん強く大きくなりました。ポーランドが参加し、ハンガリーが参加し、バルト諸国が2004年に加わりました。そしてロシアが、ニュースで聞いているのは、ポーランドの首都ワルシャワ、かつては、NATOに対抗する彼らの条約の名前になっていた場所が、アメリカに自分達の国内に駐留し、巨大なアメリカ軍基地建設を求めているのです。それに、トランプ大統領の名前がつく。

これは、ロシアの神経、感情、気持ちを 皆さんが決して理解できないレベルで直撃するのです。そして彼らが、アメリカやNATOに仕返ししたい時、彼らは、他の場所でそれを行う事が出来るのです。全世界が心配している裏庭、つまり中東です。

ですから、私たちは、非常にデリケートで、一触即発の状況を目にしているのです。

イスラエルとロシアの間で、大危機が起こりました。

シリアがロシアの飛行機を撃墜したという、非常に単純な事を越えて、この対立に、さらにどんどん層が重なっています。

イスラエルとアメリカとの関係の層、イスラエルがガスを発見し、ガスパイプ計画が、ロシアの競合となる層、ヨーロッパが、アメリカの介入をどんどん求め、ロシアの介入がどんどん減っている事の層、現在、非常に多くのことが起こっています。非常に多くの事が、地下で煮詰まっています。今は、エゼキエル戦争が起こる、数時間前です。繰り返しますが、エゼキエル38章、39章のエゼキエル戦争が起こる為には、これまで、ずっと話して来たように、ダマスカスが崩壊しなければならないと、私は信じています。

イザヤ書17章1節が、成就しなければなりません。

私達は、ものすごい事を目にしています。前代未聞です。

今のところ表面的には、ロシアとイスラエルは仲良くやっています。しかし地下では、全く違います。今、ロシアが傷つけられ、裏切られ、ものすごい屈辱を受けたと感じている為、爆発しています。彼らの武器が、彼らの飛行機を破壊したのです。そして、彼らの国民が、死亡しました。戦争の略奪品を享受する代わりに、実際には、死体を数えているのです。ロシアの大統領と彼の国にとって、これは、いい宣伝にはなりません。なので我々は、ロシアの反応を非常に慎重に見守っています。

まだ最終決断は下されていないと私は思います。現在は、皆が、状況を落ち着かせようとしています。

イスラエルは、ヨム・キプールを祝っていて、イスラエルの暦の上で、最も厳粛な聖日です。現在、イスラエルはすでに朝6時です。私は非常に慎重に、あちらで起こっている事を追っています。ちょうど45年前に、

イスラエルは、奇襲攻撃を受けましたから。我々は、警告を受けていたのですが、それに耳を傾けませんでした。そして我々は、シリア、エジプトから攻撃を受けました。またエジプトを助けた軍隊の一部は、ロシアのパイロットです。なので、彼らがヨム・キプールを利用して、反撃するかどうか、私は目を見張っています。可能性は、非常に低いですが。これから数時間の間、中東は非常に興味深いことになるでしょう。イスラエルは、ヨム・キプールの朝を迎えて、断食して祈り、45年前と同じ事がまた起こらないよう望んでいます。次に、Behold Israel のフェイスブックページと、アプリに、ヨム・キプールに関してコメントを書いたので、ぜひご覧ください。さらにはユーチューブで、「God's Calendar/神の暦ーヨム・キプールの真の意味」も、ご覧いただけます。ただ、皆さんにお伝えしますと、イスラエル人達、世界中のユダヤ人達が、ヨム・キプールに断食しています。

レビ記 23:27 には、こうあります。

27 「…あなたがたのための聖なる会合となる。あなたがたは身(魂)を戒めて、火によるささげ物を主にささげなければならない。

(レビ記 23:27)

これだけです。ほんの2~3節で終わりです。さて、聖書が断食について伝えている時は、そう書いています。しかし、神が、イスラエルの民に言っているのは、全く異なる別の事です。

「あなたがたは【魂】を戒めて」

体ではありません。ヨム・キプールに断食するのは、聖書的というよりむしろ、伝承です。

神が、断食をしろと言われる時、または神が断食について語られる時は、聖書の中で、断食について語られている箇所が、いくつもあります。新約聖書の中でも、断食する時は誰にも知られないようにしなさい、とあります。顔を洗って、身なりを整えなさい、と。

人の為に行っているのではありませんから。神に対して行っているのですから。それが、ここで見られるのは、人々が断食をするのは、皆に断食している事を知らせる為です。

ヨム・キプールの前に、イスラエル人が人を祝福する最も一般的な方法は、

「断食が楽に済みますように。」

しかし聖書には、「魂を戒めなさい」とあります。それがあつた人々は、断食して身を戒めようと決め、そして、皆がその人に、「楽な断食になりますように」と伝えてる。私が心の底から信じているのは、断食や、食べないのは、私達の魂を戒めるのではなく、私達の腹を戒めているだけ。しかし神は、イスラエルの国に、魂を戒めるようにと書いておられます。

御言葉から、それぞれが魂を戒める方法を探らなければなりません。

私は、ここで2つの事に注目しなければならないと思います。

1つは、イスラエル国家が命じられているのは、ただ魂を戒めるだけでなく、火による捧げものです。

それから、要点をお伝えしますと、非常にシンプルです。ユダヤ人達は、完全にポイントがずれていると思います。イエスの事を抜きにしても、です。彼らは魂を戒める代わりに、身を戒める事を選びますが、これは、新興宗教にも、古い宗教にも共通する事です。そうすることで、魂がいい気分になり、また、魂が清められたような気がします。そして、自分たちの礼拝する神に対して犠牲をささげられた事に、喜びを感じます。彼らは、間違つたものを戒めて、フォーカスを、神からいつもの通り、我々に移しています。

では、魂を戒めるとは、どういう事だ？と思われるでしょう。

ここに、イエスが登場します。人が魂を戒める事が出来るのは、唯一、私達には、自分の力や行いで聖くなる

事は、絶対に出来ないと理解した時だけです。聖書が告げている事が一つあるとすれば、ローマ書で、イスラエルは自己義認を立て上げようとしています。イエスを通して、神から与えられる義ではなく。自分には救い主が必要である、という事を理解して、絶望する、これが魂を戒める、という事です。魂を戒めるとは、自分が罪人であると理解して、自分が罪人であると告白する事。自分の力で、もっと神に愛してもらおう事など出来ない、と理解する事です。神は、そのひとり子をお与えになった時点で、すでに十分愛してくださっているのです。その絶望感が、唯一、魂が経験出来る事です。もし、私たちが自分の力で出来ないのなら、他の選択肢は何なのか？この為に、神は、ささげものを命じておられるのだと私は思います。そのささげ物は、私達には、自分の力や行いでは自分を義とする事が出来ない為に、ささげられます。だから、ささげ物が必要なのです。ペテロとパウロは両方とも、誰の目にも、律法、伝統共に熟知したユダヤ人でした。メシアの生涯で、貴重な真理が明らかにされた事を、彼らのどちらもが理解していました。

彼の生涯は、誰よりも清く、ご自身を、後に完璧な過越の小羊とする為に、律法を成就されました。生きておられる間、その清さが調べられ、彼の死によって、動物の血ではどれほど足りないか、またキリストの犠牲が、どれほど完璧であるかを、私達は理解します。

ヘブル人への手紙 10:1-18 には、こうあります。

1 律法には、後に来るすばらしいものの影はあっても、その実物はない…

(ヘブル 10:1a)

そしてその、「後に来るすばらしいもの」として、当然、イエスが来られました。

詩篇 40:6-8 には、こうあります。

6 あなたは、いけにえや穀物のささげ物をお喜びにはなりませんでした。

あなたは私の耳を開いてくださいました。

あなたは、全焼のいけにえも、罪のためのいけにえも、お求めにはなりませんでした。

7 そのとき私は申しました。

「今、私はここに来ております。

巻き物の書に私のことが書いてあります。

8 わが神。私はみこころを行なうことを喜びとします。

あなたのおしえは私の心のうちにあります。」

(詩篇 40:6~8)

これは、「メシア詩篇」です。エレミヤ書 31 章は、イスラエルに与えられる、新しい契約について告げています。使徒の働き 4 章 12 節には、こうあります。

12 天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。

(使徒の働き 4:12b)

マタイ 1:21 には、こうあります。

21 その名をイエスとつけなさい。…

(マタイ 1:21b)

ヘブル語でイエシュア。これは「救い」という言葉から来ています。なぜか？ それは、

21 …この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」

(マタイ 1:21b 続き)

これから、私はある事をお伝えしますので、どうか皆さんは、私と一緒に祈りいただければと思います。  
 イスラエルよ。魂を戒めよ。自分の力や行いで、救われる事は出来ない。完全なるささげものを捧げよ。  
 どんなに優れた動物のささげ物にも勝る、唯一の真理であり、いのち。  
 それは、イエシュア、イエスだ。使徒の働き 16:31 にあるとおり。

**「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」**

(使徒の働き 16:31)

この厳肅な日、世界中で皆が断食していますが、彼らの目が開かれ、理解しますように。  
 それから皆さん、大患難の終わりに、主が私達と共に戻って来られる時、イスラエルの為のラツパの祭りが成就されると私は信じています。主が、ラツパの響と共に来られ、その時、全てのひざがひざまずき、すべての舌が主を褒め称えます。それは、全世界で目撃されます。ただ、もう一つ私が信じているのは、イスラエルが、主を見たとき、ゼカリヤ書 12 章には、こう書かれています。

**10 …彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、**

(ゼカリヤ 12:10)

彼らは、嘆き、激しく泣く。

これが、「魂の戒め」です。

イスラエルは国家として、ヨム・キプールの日に、自身のヨム・キプールを通ります。

イエスの足が、オリーブ山に降り立つ日から、ぴったり 10 日間です。オリーブ山が裂けるなど、地理的にすっかり変わります。そして、それによって悔い改め、戒めが始まります。

それから、ヨム・キプールの日、彼らの名前が、いのちの書に書き記されます。

そして仮庵の祭りが始まり、千年の間、主が、その民の間に住まわれます。

すばらしい時です。本当に素晴らしい。ただ、今は、私達はまだ盲目で、まだ、自分で義をうちたてようとしています。だから今は、私達は祈らなければなりません。

聖書は、異邦人に対して、エルサレムの平和の為に祈れ、と告げています。

しかし、エルサレムの平和が訪れるのは、唯一、平和の君が来られた時のみです。

また、私達が知っているとおおり、救いが異邦人に与えられたのは、ユダヤ人のねたみを引き起こす為です。だから、救われる為の、もっと簡単で、もっと早く、もっと優しく、最も素晴らしい道を、彼らに伝えて、彼らの妬みを引き起こしましょう。

一銭もかかりませんし、痛くありません。

ただ信じるだけ。

イエスが完成してくださった御業を信じる信仰のみです。

アップデートは以上です。

あちらを削除して、改めてアップデートが出来て良かったです。

現在起こっている事の為に、祈りしましょう。

それから我々信者は喜び、備えましょう。

本当に時間がありません。

ある人が以前、私に言ったのは、

**「11 月中旬に、クリスマスの飾りを見かけると、感謝祭に近い事が分かる。」**



最終的に反キリストが興り、平和をもたらすきっかけとなる戦争の備えを目にしたら、反キリストは、私達がここを出ていかない限り、興る事は出来ません。彼は、戦後の大混乱に平和をもたらします。

だから、今、本当に近づいています。

ところで、金曜日はカルバリーチャペル・タスティンで、反キリストの特徴について、お話しします。名前ではありませんよ？

反キリストとは、何で、どんな人物なのか。

世の”反キリスト達”…これは初めからいて複数です。

それと、反キリストとの違いを説明します。その意味について、それから彼がシリア人であるとか、レバノン人であるとか、その他、人々が考える様々な間違いについて、お話しします。

それは、文脈の一部分だけを取り出している為で、私は、彼がどこから出ると思っているのか、それについても、お話しします。私には、それが誰だか分かりませんが、彼が、どこからやって来るか、また、いつなのか、その理由も分かります。聖書にそう書いてありますから。

聖書にさえ留まっていれば、そして、聖書を学びさせれば、全く驚く事ではありません。

もし聖書が、彼について一切知らせたくなければ、聖書は、彼について一切告げていなかったでしょう。しかし、そこに書かれているのなら、私達は、知っておく必要があります。

私達は、ものすごい時代に生きて、信じられないような事を見えています。だから、花嫁として我々は用意をするのです。花婿に連れて行ってもらう準備を。

彼が来られます。古代ガリラヤの風習では、唯一、花婿の父親の命令があった時のみ、花婿は、花嫁を抱き上げられて、連れて行きます。素晴らしい事になるでしょう。すごい事になりますよ。

その時、あちらで我々は再び、主と共に、ぶどう酒をいただきます。

皆さんが、励まされた事を願います。

また同時に、今が緊迫した時代と季節である事を皆さんが、理解された事を願います。

では最後に、アロンの祝福でこのアップデートを終えましょう。

ヴェイシエメラー	アドナイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	ヤーエール
וְיִתְנֶה	אֱלֹהֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יָאֵר
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	イツァー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיָשֶׁם	אֱלֹהֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(民数記 6:24~26)

(引用：牧師の書斎 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー	アドナイ	ヴェイシエメラー				
ヤーエール	アドナイ	パーナーヴ	エーレーハー	ヴィーフネッカー		
イツァー	アドナイ	パーナーヴ	エーレーハー	ヴェヤーセーム	レハー	シャーローム

全ての理解を超える平安、唯一、平和の君、平和の主だけが与えられる平安が、今も永遠に、ここでも、どこにおいても与えられますように。

ありがとうございます。God bless you!

このメッセージも、ユーチューブに上がりますが、少し時間がかかります。イスラエルは、現在ヨム・キプールで、それが終わるまで、アップ出来ませんから。ですから、フェイスブックでこれをご覧になって、シェアしてください。とても重要なアップデートですから、城壁の見張り人として、私達は、他の人達に伝えなければなりません。人に警告を与えるとは、そういう事です。どうやって警告するのか？ シェアです。

人々が理解するように。”シェア”をクリックして、祈りましょう。

ありがとうございます。

カリフォルニアのアーバインより、シャローム！

God bless you!

---

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

シリア・ラタキアの位置 : Yahoo 地図「ラタキア」